

議会

だより

い

な

が

わ

第138号

平成23年(2011年)2月4日

町の組織を改編	2
町税大幅減収	4
一般質問 10人が町の考えを聞く	9
追跡 あの質問 その後は	14



出初式
観閲行進

第五次総合計画本格始動!!

町組織改編

第353回 12月定例会

第353回12月定例会を12月7日から21日までの15日間開会し、22年度各会計補正予算4件、条例制定1件、条例改正2件、指定管理者の指定2件を審議し、いずれも原案どおり可決した。また、21年度一般会計、6特別会計の各会計決算を認定した。

第五次総合計画の実現に向け町の組織を改編

事務分掌及び組織の名称を改める必要があるため、関連8条例の一部を改正。

条例の一部改正

火災予防条例の一部を改正
手数料条例の一部を改正

第五次総合計画に掲げるまちづくりの実現のため、組織内の更なる連携と組織力を強化し、行政課題や住民ニーズに適切かつ効率的に対応することが出来る組織へ改編するようになった。

当初予算を補正で大幅組み替え

町民税の減収を勘案した一般会計

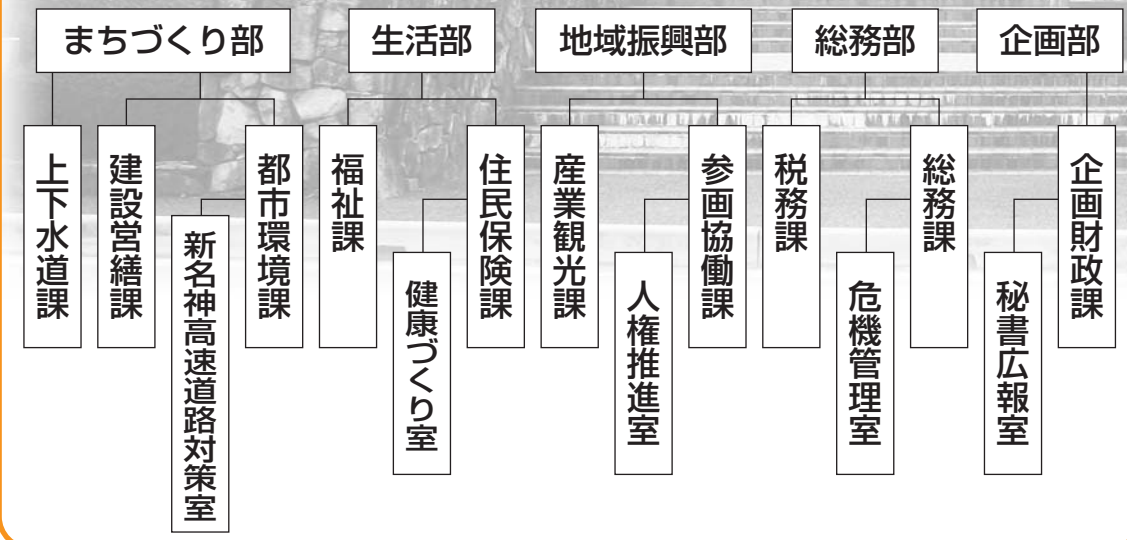
公の2施設、指定管理者を指定
①農産物販売センター、加工・地域食材供給室及び地域農業情報センター(株)いながわフレッシュパーク
②大野アルプスランドII 柏原生産森林組合

地方交付税など 3億5000万円
補正予算では、景気の低迷などによる町民税の大幅な減収見込み(1億7600万円)を受け、地方交付税や臨時財政対策債など3億5000万円の措置があり、ワクチン接種(6000万円)やスポーツセンターの改修(4000万円)など支出を補っても余剰財源がでることから、財源不足を補う財政調整基金からの取り崩し(1億2400万円)をしないこととした。(いずれも全会一致可決)

平成23年4月より 6部から8部へ移行



今回改編された部署



討論

平成21年度一般会計決算

反対 地域に学ぶ体験学習支援事業は解放学級の名称が変わったもの。人権学習は特定の場所で行うべきではない。また、森林組合の補助金は今後も検証が必要。

賛成 急激に進行する円高、デフレなど先行き不透明な中で執行された予算であったが、本町の財政状況を示す各指標は改善するなど、健全な財政運営に努めてきている。

平成21年度後期高齢者医療保険特別会計決算

反対 後期高齢者医療制度そのものに反対。制度を廃止し老人保健制度に戻すべき。

(いずれも賛成13・反対2で認定)

条例の一部改正

平成22年8月10日の人事院勧告に準じ、職員の給料及び職員・特別職・町議会議員の期末手当が引き下げられた。

討論

職員給与に関する条例等の一部を改正

反対 人事院勧告によって民間企業との比較で、いつも公務員の給与が引き下げられてきた。公務員の給与を引き下げれば企業も安心して賃金が下げられる、いわば民間企業の調整弁として公務員が使われているよつなことから反対する。(賛成13・反対2で可決)

特別職・教育長の給与及び議員報酬に関する条例の一部を改正。(全会一致可決)

会計別の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	1億2408万円	93億2256万円
国民健康保険	4978万円	26億2726万円
介護保険	3027万円	15億239万円
後期高齢	1840万円	4億5841万円

第352回 11月臨時会

第352回臨時会を11月29日に開会。条例改正3件を審議し、いずれも原案のとおり可決した。

町税 21年度 も大幅減収

前年度比1億5500万円(3.8%)減 景気低迷が大きく影響

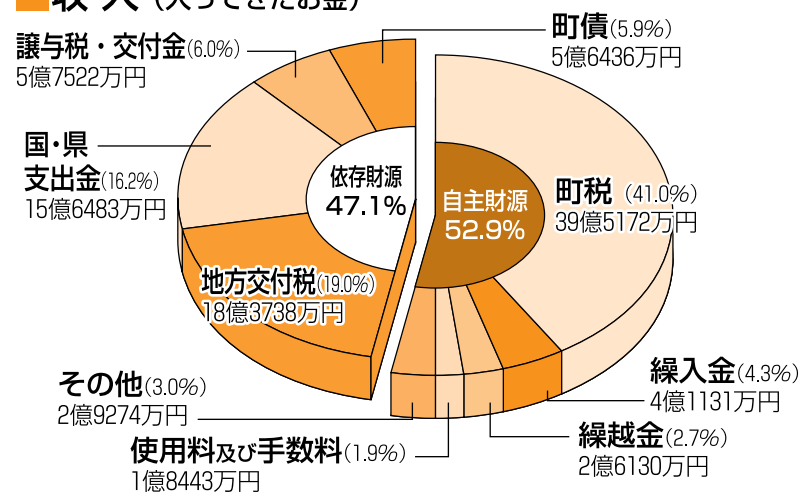
平成21年度各会計（上下水道事業会計を除く）決算は、各常任委員会で延べ4日間にわたり審査し認定した。

21年度 各会計別決算状況

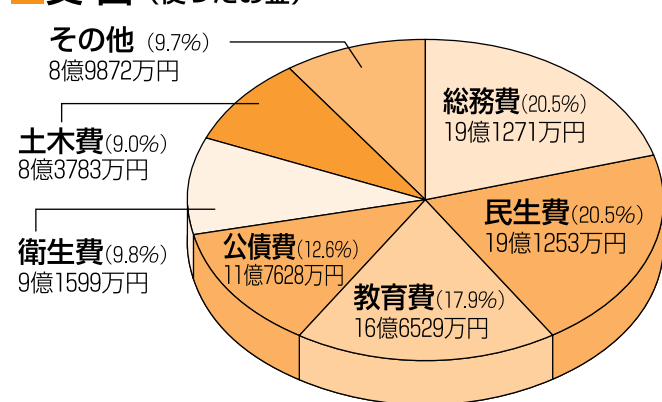
会計区分	収入	支出	収支差引残額	
一般会計	96億4329万円	93億1935万円	3億2394万円	
特別会計	国民健康保険	24億5065万円	23億9782万円	5283万円
	介護保険	14億7428万円	14億4646万円	2782万円
	後期高齢	4億4229万円	4億2389万円	1840万円
	老人保健	454万円	406万円	48万円
	農業共済	3338万円	1858万円	1480万円
	奨学金	631万円	502万円	129万円
合計	140億5474万円	136億1518万円	4億3956万円	

一般会計(収入・支出)の内訳

収入(入ってきたお金)



支出(使ったお金)



主な質疑

一般会計

総務建設常任委員会

行財政

Q 税収の伸びが見えない中、今後の財政運営は。
A 基金に頼らない財政運営を目指しているが、状況は年々厳しい。今後老朽施設の改修など、多額の経費がかかる。基金などを効果的に活用していきたい。

消防

Q 救急アドバイザーの1年間の活動内容と、その効果は。
A 主に救命講習、出前講座、救急フェアなどにおいて啓発活動を行った。小さな単位で講習会などが気軽に開催でき、申し込みが増えている。

くらし

Q 定額給付金の未受給

者がいるのはなぜか。
A 居所不明や再三の通知に際しても申請がなかったもので、63世帯で約100万円未受給である。

コミュニティ

Q 地域に学ぶ体験学習支援事業の内容は。また、町全体の子ども達を対象に行うべきでは。
A 22歳までを対象に実施し、3校区からの参加がある。すべての差別解消に向け展開しているもので、地域を特定した考えで実施しているものではない。

建設

Q 生きがいつくり事業の現状と、今後は。
A シニアファーマー事業を展開し、遊休農地の利用を目的としてきたが、今後は、自主活動へ転換したい。

農業

Q 有害鳥獣の捕獲を委

託したが、被害発生の見込みは。
A 昨年度は、イノシシや鹿、アライグマなど116頭、一昨年は88頭捕獲したが、減らない状況で、全体的に個体数を減らす取り組みをしていきたい。

医療・福祉

Q 担い手育成や休耕田対策など、今後の農業施策は。
A 現在、笹尾や西畑地区で農業の集団化の取り組みが実施されている。遊休地は地権者との話し合いを行い、復元に取り組みたい。

教育

Q 小学校の英語活動に係る教材の開発、地域の人材発掘など、どう取り組んでいるのか。
A 小学校5・6年生を対象に、文部科学省から配布された英語ノートを中心に学習している。地域の人のボランティア

環境

Q クリーンセンター跡地の対応は今後どう進めるのか。
A 現在、施設の解体も含め、町内部で協議しており、決まればクリーンセンター運営協議会にも報告し、意見を聞きながら進めたい。

環境

Q クリーンセンター跡地の対応は今後どう進めるのか。
A 現在、施設の解体も含め、町内部で協議しており、決まればクリーンセンター運営協議会にも報告し、意見を聞きながら進めたい。

契約

Q 給食センターの配送車運転管理業務委託で多額の入札減となっているが、業務に支障はないか。
A これまでも同業務を行ってきた業者であり、単なる入札減である。業務に問題はない。

教育

Q 小学校の英語活動に係る教材の開発、地域の人材発掘など、どう取り組んでいるのか。
A 小学校5・6年生を対象に、文部科学省から配布された英語ノートを中心に学習している。地域の人のボランティア

生活文教常任委員会

今後の取り組みは。
A 町内に48公園あり、今後もワークショップやアドプト制度を最大限に活用していきたい。(賛成6・反対1で認定)

医療・福祉

Q 乳幼児医療費助成の対象年齢を拡大する考えは。
A 財政措置を勘案して、状況を分析する必要はある。
Q 保育料の収入未済額が昨年より増加しているが、滞納者数は。また、どの階層が多いのか。
A 決算時点で21名が滞納している。所得階層では4階層あたりが多い。
Q 障害者の就労支援による就労状況は。
A 21年度は、勤務時間や体面から、就労した3名の内1名が退職した。

主な質疑

特別会計

介護保険

生活文教常任委員会

国民健康保険

奨学金

◎ 在宅介護の割合は。

◎ 町の在宅介護の割合は正確には出していないが、国の参酌標準である

◎ 医療費は右肩上がりで収入となる税収は非常に厳しい状況にあるが、今後の国保財政の見通しは。

◎ 市町村単独では財政運営が難しいことから、市長会、町村会が合同して、広域運営を要望している。

◎ 国民健康保険税の不納欠損の内容は。

◎ 財産無し32件、生活の窮迫3件、所在不明2件。生活実態を調査し納付相談を行い、平成22年度よりコンビニエンスストアでの収納も開始し、納付環境も整えている。

◎ 景気低迷が続いているが、貸付金の返済状況に影響はないのか。

◎ 返済については卒業後6カ月据え置きとし10年以内の返還を規定しているが、現在のところ10年を超えた例はない。

◎ その他、後期高齢者医療保険・老人保健・農業共済特別会計についても審査。後期高齢者医療保険特別会計は賛成6・反対1で認定。その他はいずれも全会一致で認定

◎ 現在特養の待機者数は何名くらいか。

◎ 第1階層の必要度の高い人が31人、第2階層の必要度が低い人が45人、第3階層の必要性が乏しい人が33人である。

22年度 定例会の日程

* 3月定例会

- 23年2月25日 (第1日)
- 3月4日 (第2日)
- 3月7日 (第3日)
- 3月25日 (第4日)

※議事の都合により変更することがあります。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬連絡所で閲覧できます。

また、ホームページからも一部の会議録をご覧になれます。

議長交際費の閲覧

閲覧内容は、支払日、支払目的、金額などで、相手先については原則公開ですが個人情報を含む場合は非公開となります。

4月分以降を3カ月毎にまとめ、最終月の翌月末に閲覧できます。

希望される方は、議会事務局で閲覧受付簿に必要事項を記入していただければ閲覧できます。

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、身近な問題などを議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただければ傍聴できます。

(議場20名、委員会室10名まで)

お知らせ

組織改編で行政サービスの向上を

総務建設



庁舎1階窓口

12月9日、委員会を開会。付託6議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 歴史街道での路肩崩落は、当初の計画に問題があったのではないか。

A 5月の降雨で増水、空石積み箇所が崩落した。

Q 銀山観光資源整備事業委託の内容は。

A 3カ月で3人を雇用、台所・瓢箪間歩まで約3千㎡の雑木林伐採を行う。組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

Q 部長職が増え、行財政改革の逆行では。

A よりスピーディーな対応を考え質の向上も図る。

Q 一層の権限委譲をすべきでは。また、職員意識改革とモチベーションアップが重要と思うが。

A 部長の裁量により最大の効果を考えている。また、日々意識を高め、自己研鑽を行う。

Q 危機管理室の具体的な職務内容は。

A 平素から情報を収集・蓄積させ、様々な非常

事態に迅速に対応する。

Q 環境部門が2課に分かれているが、なぜか。また、教育委員会など全体的な部分の考えは。

A 環境政策はまちづくり部で、環境衛生の実質的な部分は住民保険課でと考えている。町長部局以外の組織は当該部局で調整される。

農産物販売センター、加工・地域食材供給室及び地域農業情報センターの指定管理者の指定

Q 非公募での選定であり、不透明では。道の駅の現状では、売上減少やサービス低下など課題があるが。

A 指定管理者選定委員会、専門的な観点から選定された。また、課題は(株)いながわフレッシュパークでの運営協議会で取り組んでいる。

(その他、火災予防条例・手数料条例の一部改正について、大野アルプスランドの指定管理者の指定についても審査。いずれも全会一致で可決)

先進地視察レポート

地域資源を活かした産業振興のまちづくり

11月9日 高知県馬路村



間伐材を利用した製品づくりの体験学習

「シャネル・ヴィトン・うまじむら」馬路村のブランド化推進事業は、地域資源を活かした柚子の生産・加工・販売やポン酢醤油、飲料の商品化で成功し、年間売上約32億円を誇る。また、間伐材を利用したバッグ・うちわ・名刺など製造・販売、海外にも進出している。

特産品を活かした

地域の活性化、観光資源開発

11月10日、高知県香南市

海と山に囲まれた美しいまち。市民が中心の「香南市まるごとプロジェクト」を推進。地域独自の資源を活用し、「身近にあるおいしいもの、田舎ならではの場所」をキャッチフレーズに全国向けのカタログなどを製作しPR。「香南ブランド」を目指す。

がん検診受診者の増加に対応

12月10日、委員会を開会。付託4議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q がん検診などの予防費が伸びている要因は。

A 県下でも受診率が高い方で、特定健診やがん検診をセット検診にしたことで延べ1万5600人を見込んでいます。

Q 子宮頸がん・ヒプフクチンなどの接種は対象年齢が決まっているが、周知はできているのか。

A 各対象年齢の方に個別に通知を行っています。

Q 個人住民税の減額で、地方交付税措置されているが今後も見込めるのか。

A 景気低迷による所得税の減額と臨時財政対策債の本格返済の増加から、地方交付税が増額交付されているが、次年度以降の見込みは現時点では予測出来ない。

Q 理科おもしろ推進事業の減額の影響は。また、今後の事業継続は。

A 国の事業仕分けで事業縮小になった。新学習指導要領の重要項目の一つが理数教育の強化であり、5、6年生の理科実験補助などに推進員を配置している。理科授業の内容充実のため、今後も研究が必要と考えている。

Q クリーンセンターの重機の故障への対応は。

A パワーショベルの旋回用ギアの故障で、修理に2〜3カ月、240〜250万円かかるため、修理せずレンタルで対応している。

Q 国民健康保険特別会計補正予算

Q 年度末の基金の見込みは。

A 療養給付費の見込みは難しいが、約9千万円を見込んでいる。



がん検診車

Q 景気低迷により国保加入者への影響は。

A 所得減による軽減の申請が1千万円近く出されており、経済的な状況で加入者が増えている。(介護保険・後期高齢者医療保険特別会計補正予算についても審査。いずれも全会一致で可決)

生活文教

先進地視察レポート

生き生きした暮らしをお手伝い

11月8日 長野県東御市

NPO法人が運営する宅幼老所「岩井屋」は、平成18年に古民家を改修して富山型とよばれる高齢者・障害者デイサービス、障害者就労支援、乳幼児・児童一時預かりをスタート。積極的に地域と交流を深めることで、利用者が快適に生き生きと一日を過ごしている。また、農園で野菜づくりにも取り組み、収穫物は、地元の道の駅のほか東京でも販売している。

自然にふれ元気に

のびのび育つ園児たち

11月9日 長野県安曇野市

豊かな自然の中で保育をしたいと願う保護者によって、スウェーデンの園舎のない幼稚園を参考に平成14年に開園。異なる年齢の園児25名を、毎日、森の中で保育している。



野外保育 森の子

Q つつじが丘小学校の教室不足状況は

A 来年度は現状のままと予想している



尾川 悦子議員

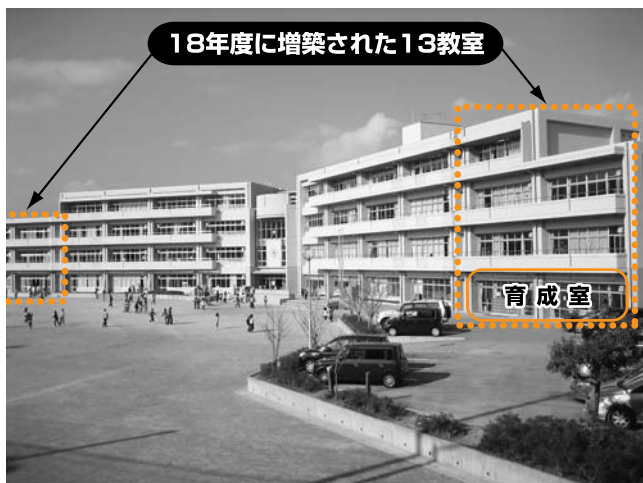
つつじが丘小学校の教室不足が心配されているが、その要因と状況は。

【教育部長】 兵庫県が進める35人の少人数学級制の導入が始まり、以後対象学年を4年生まで拡大する施策が進められることにより教室が不足する懸念があるが、来年度は現状のままと予想している。不足時には特別教室の一時転用・留守家庭児童育成室の他施設での開設

も含め検討しており、関係者協議を進めつつある。留守家庭児童育成室と放課後対策への考えは。

【教育部長】 教育委員会と保護者会合同のアンケートを実施しており、利用者の意見については、この事業の受託者との契約期限を迎える平成24年度までに対応可能な施策展開ができるよう取り組む。放課後子ども教室を学校拠点の平日活動に誘導しており、軌道にのれば留守家庭児童育成室の利用者が半減すると考えらる。つつじが丘幼稚園は5年後閉園となるのか。

つつじが丘小学校



18年度に増築された13教室

育成室

＜その他の質問＞
子ども・若者サポートシステムと特別支援教育の今後について

Q いじめ対策の指導と実行は

A 絶対に許さない厳しい姿勢を貫く



合田 共行議員

【教育部長】 平成20年度は小学校5件、中学校8件。21年度は小学校8件、中学校11件。言葉であれ、暴力であれ、被害を受けた子どもは耐えがたい苦痛を伴って認識している。いじめ防止と対策は、そして今後の課題は。

【教育部長】 絶対に許さない厳しい姿勢を貫く。中学校では、いじめを掲げ取り組みを進め、また各校では子どもの面談、交換ノートの活用などを実施している。今後は、文部科学省からの通知による「いじめ実態把握アンケート結果」と中谷中学校での取り組みを町内全校へ広げていく。職員の出退勤の管理もつと厳格に、タイムレコーダーの設置を。

＜その他の質問＞
道路標識の見直し

いじめアカン 「解決率」都道府県別に公表... 不登校に賠償増額判決... 中学校の自殺生ら... いじめに関する記事 (産経新聞)



新賀 保議員

Q 市立川西病院行バスの現況と今後は

A 町地域公共交通会議などで方針を決定

本町では、医療における住民サービス向上と高齢者や自動車運転免許証を持っていない方の交通手段の確保を目的として、試験的に市立川西病院行のバスが、平日のみ7月15日から12月28日まで1日8往復運行されている。試験運行が始まって5カ月が経過しようとしているが、1日平均の乗降客は何人になっているのか。



市立川西病院行バス

している状況である。試験運行があと2週間で終了するが現況を見て今後のように判断しているのか。

総務部長 本格実施の是非については、医療サービスとしての必要性などを踏まえ、地域公共交通として、地域の実情に応じた適切な運行を行う必要があることから、本年度より設置した町地域公共交通会議で審議するとともに、川西市との広域連携などの課題の整理や住民意向のさらなる把握などにより、方針決定をしていく。



夜明け前に設置のごみ容器



池上 哲男議員

Q ぐみ出しに困っている住民の調査は

A 自治会や個人から要望を受けている

過去の「高齢者や共働き家庭などではぐみ当番が物理的に困難になってきており、早急なぐみ出し支援拡大を」との質問に、「ぐみ出しは地域のコミュニティの中で」との答弁だったが、コミュニティの実態把握は。また、困っている住民の状況を

調査しているか。

生活部長 ステーションの管理は基本的に地域にお願いしている。コミュニティの実態は、自治会に加入していない人が増えており、ぐみ当番に限らず自治会活動にも影響しているとも聞く。住民の状況は、自治会や個人から要望を受け、一部ではあるが把握している。現在175自治体が住宅リフォーム助成を行っている。工事を地元業者に限定することで建設業者に仕事が生まれ、住宅に関連する業者にも波及し、雇用の拡大にもなっている。その効果は助成額の数倍から数十倍といい、政府も効果のデータを出している。本町でも実施を。

建設部長 地域の活性化と経済効果が期待できると認識しているが、現時点では困難。

Q 認定こども園の早期実現を

A 私立幼稚園で4月に開始予定



丸山 純議員

保育に対する住民ニーズが増加している。幼稚園の機能と保育所の機能を兼ね備えた「認定こども園」の早期実現を。
生活部長 現在、国では「認定こども園」を進展



子育てニーズが増加している保育施設（猪名川保育園）

させた「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」作りが進行中。本町として現時点では予算に「認定こども園」の整備事業補助金を計上し、町内私立幼稚園で「認定こども園」の開設への施設改修工事が8月に完了し、平成23年4月運用開始に向け12月から園児募集を行っている。私立幼稚園の事業運営に期待したい。マスコミ報道などでは国で検討中の新システムは、「認定こども園」を一歩踏み込み「こども園」と位置づけることや（仮称）子ども家庭省での取り組みにするなど、本町もより取り組みやすい制度となる。「こども園」のあり方について、国の動向を注視しつつ、教育委員会とも調整をはかりながら、十分な検討を加える。

Q 里山復活に木質ペレットストーブは

A 検討はしているが、時期尚早である



石井 洋二議員

わが町では里山の復活が叫ばれ、取り組みも徐々に始まっているが、具体的な施策が期待される。近年は特に低炭素型社会が求められているが、間伐材を利用したペレットの製造とペレットストーブを公共施設などに設置し、循環型社会の形成をはかってはどうか。

建設部長 里山再生基本構想において森林整備活動を行う中、環境に配慮した循環型社会構築の必要性を強く感じている。ペレットストーブについては、本年設置された里山・清流プロジェクトにおいて提言があり、検



小型の木質ペレット成型機

討しているが、時期尚早である。

就職難が進んでいる中、障がい者の就労は、さらにきびしいものがあるが、安定した作業としてペレット製造の作業を取り入れることはできないか。

生活部長 ペレット製造の作業工程としては間伐材を粉碎し、ペレット状に固めていくものと理解しているが、コスト面や危険性もあり、現時点では困難。

＜その他の質問＞
 ・地域活性化のための褒賞制度をつくっては
 ・寄附を受ける土地の現状と今後の展開は



南 初男議員

Q プロジェクトチームの取り組みは

A 組織枠を越え、横断的連携は一層重要

本町は、4月に第五次総務部長 地域主権改革の重要性は指摘のとおり。

地方分権、かつ地方の時代といわれる現在、地方からの改革や地方主権の時代に入ったと考えられる。今後は各市町村の特色を生かし、その地域独自の施策で、住んでよかったと思える町にするための知恵を出し、具体化していく。それがプロジェクトチームと考える。現在の本町にそのチームはいくつあるのか。その方向性と目的や進捗状況は。

合計画を開始。総合計画の実現や町政の政策課題の対応に各分野を越えた連携と協力により、庁内が一体となって取り組む必要があると考える。チームは「魅力創造」「健康・長寿」「里山・清流」という3つのテーマで、6月に設置。8月末をめどに調査・研究し、9月末に企画提案を実施。次年度以降においても、必要に応じてチームの設置を検討し、政策課題に対し、職員の意欲と意識を高める。



町が進めるプロジェクト概要



平成22年度 敬老会の様子



下坊 辰雄議員

「敬老の日」は兵庫県多可町が発祥の地であり、戦後の動乱期、野間谷村（旧八千代町）で、長い間社会に貢献されたお年寄りに敬意を表すとともに、知識や人生経験を伝授してもらう場を設けることを目的とし、全国で初めて村主催で開催された。平成22年度の本町敬老会は対象者4241

Q 敬老会受影者の名前は発表しないのか

A 個人情報保護のため掲載していない

人の内550人が参加し行われた。受影対象者の名前が発表されないのはなぜか。

生活部長 受影者の名前の公表は、平成16年以前は、敬老会式次第に掲載していたが、その一部の人から公表すべきでないとの声があった。また昨今の個人情報への意識の高まりや悪徳商法などに利用される恐れもあり掲載をしない。北部地区での老人の憩いの場が重要ではないか。生活部長 北部地域では、六瀬コミュニティセンター・スポーツセンターなどがあり、地域力を高め自らが生がいづくりや健康づくりを進めている。高齢者の介護サービス事業所は、デイサービス施設1カ所、他の施設へは各事業所が送迎している。

Q 災害時の危機管理専任者や機能分担は

A 配置は困難だが、他団体の応援で補充



久保 宗一議員

危機管理室が設置予定だが、指揮権限や管理能力のある専任者の配置は。また、対策の中枢機能と現場対応の分担を明確にしておく必要があるが。

対応。不十分なところは建設業協会、県などに応援を求めて補充する。避難所は、災害の種類に対応した安全なところを指定すべきと考えるが。

総務部長 災害の都度、対策本部が指定するが、自治会、消防団と話し合いを重ね、住民目線の安心できる避難経路の選定については検討を進める。

条例上の民生委員への情報提供に関する解釈は。

生活部長 特定されない高齢者情報を提供することは可能。見守り活動を進める上での情報提供は、保管方法など民生委員協議会で意思統一を図ってもらう必要がある。

在宅医療などの必要性が高まってくるが。

生活部長 総合ケアの環境で寝たきり高齢者への歯科訪問診療に取り組んでいく。

災害廃棄物を処理する神戸市の応援車両（佐用町災害現場）



Q 日本ミツバチが生きていける町に

A 多様な生物が生息できるように取り組む



福井 澄榮議員



日本ミツバチ

春夏秋冬日本ミツバチが蜜や花粉を集められるように、花や花木を増やし、緑地帯や公園などの農業散布を極力止めるべきでは。

生活部長 日本ミツバチを含めた多様な生物が生息できる猪名川町にしていきたい。

建設部長 日本ミツバチが好む木など、公園の木は検討課題としたい。農業では、遊休農地に菜の花を植えたり、減農薬に配慮した取り組みをしていく。



西洋ミツバチ

うぐいす池公園のリニューアルでトイレの改修は。

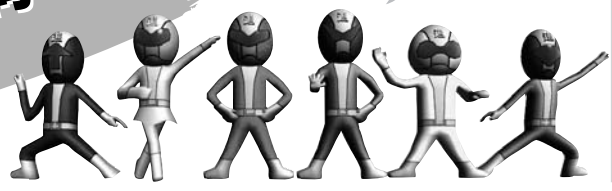
建設部長 誰もが利用できる多目的トイレに改修するよう、ワークシヨップで取りまとめられた。今後は、この内容を踏まえ、協議を進めていく。

コンクリート三面張り河川改修で、魚が棲みにくくなってきた。子ども世代に清流を残す取り組みは。

建設部長 河川にこだわらず、森林、農地、里山整備も含め、取り組んでいく。

いながわ 追跡調査隊

追うレンジャー



過去に行われた「一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。第12回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

クリーンセンターの今後は

質問 平成20年12月定例会

平成21年4月から国崎クリーンセンターが本格稼働するが、町クリーンセンターの今後の対応は。

答弁 周辺4自治会と協議し対応

し尿や浸出液を処理する施設としては存続するが、今後のあり方については、周辺自治会で組織する運営協議会で協議していく。

地デジ放送開始への対応は

質問 平成21年 3月定例会

平成23年7月からすべてのテレビ放送が地上デジタル化されるが、難視聴地区の対応は。

答弁 光ファイバなどの情報基盤を整備する

平成21年度中に全町に光ファイバ網を整備するとともに、アナログ共聴組合に対しては本町の整備計画や国の支援などについて説明し、共聴施設改修の是非など組合ごとに判断してもらう。

現在

ごみ焼却する施設としては閉鎖

焼却施設は、運営協議会と協議し、周辺環境に影響を及ぼさないよう、煙突の鉄蓋設置をはじめ、悪臭防止のためのごみピット、各槽の洗浄を実施して閉鎖。今後のあり方は同協議会と協議を進める。

難視聴地区が発生しないよう努力

本年7月の完全移行にむけ、難視聴地区が発生しないよう最大限努力している。共聴施設組合以外で受信できない地域(約560世帯)には国(総務省)と連携し、鋭意、説明会や相談会などを実施している。

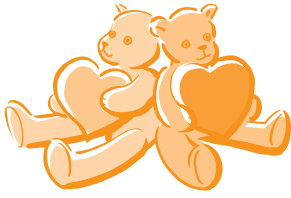
でんわ急げ!
デジタルへ

地デジでお悩みの方、お困りの方はまず「デジサポ」へお電話ください。

お電話に注意!!

総務省や放送局の対応を待ち、地デジの工事や受信機の取組などの費用をだまし取る詐欺が発生しています。身に覚えのない工事や金請求は、すぐに中止せず、最悪の被害額などへ連絡してください。

総務省 国崎デジタル推進センター
デジサポ **078-330-0101**



こどもたちの声



万緑の六瀬の里で

六瀬中学校

お祭りで買ってもらった綿菓子が入道雲ときつと親戚

二年 古川 藍花

夏空に輝く君の情熱はいつにも増して頭に残る

二年 佃 主税

夕立の後に焔めく夕焼けは心を癒すわたしの居場所

三年 谷 冴香

部活動猛暑の中で汗流し試合で気付くかすかな成果

二年 久保有里奈

春

猪名川中学校 二年 新貝 卓丸

春には卒業式があります

卒業していく先輩の涙・

それを見て僕は強くなります

春には入学式もあります

一年生を優しく受け入れてあげられる

先輩になります

春はいろいろな感情が見られるから

僕は春が好きです

議会広報研究会に参加

11月11日、県町議会議長会主催の「議会広報研究会」が開催されました。

エディターの城市 創さんから「議会だより編集テクニック」をテーマに読んでもらえる広報紙、わかりやすい紙面づくりなど具体的な指導を受けました。



議員研究会に参加



11月18日、多可町「ベルディーホール」で県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され、14名の議員が参加しました。

同志社大学教授の村田晃嗣さんから「激動する世界情勢と日本の課題」をテーマに講義を受けました。



猪名川町議会

議長

道上 善崇

副議長

下坊 辰雄

議員

池上 哲男
石井 洋二
尾川 悦子
久保 宗一
合田 共行
新賀 八郎
西谷 保
仁部 壽夫
福井 澄榮
福井 昌司
丸山 純
南 初男
宮東 豊一
安井 和広

(50音順)

いながわ議会だより 11月臨時会・12月定例会

第138号 平成23年2月4日

発行：兵庫県猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会

昨年、日本人2名のノーベル賞受賞・小惑星探査機「はやぶさ」の帰還など、うれしい話題がありました。一方で情報の流出などネット社会のこれからを考えさせられる出来事もありました。社会や時代の変化を注視しながら、議会広報も迅速でわかりやすい情報を提供できるよう取り組みますので、今年もよろしくお願いたします。

いながわ議会だより
県コンクールで『優秀賞』

県議会議長会広報紙コンクールにおいて、「いながわ議会だより（第135号）」が優秀賞を受賞しました。

表彰状
優秀賞
川辺郡猪名川町議会
貴町議会広報紙は第三十回議会広報紙コンクールにおいて頭書の成績を収められましたのでこれを表彰します
平成二十三年十一月十日
兵庫県議会議事会
会長 山口 雄三

議会広報特別委員会のメンバー

いながわ議会だより(第135号)

中学校卒業まで入会費無料	2
会派を代表し新町長に贈る	9
一般賛助 7人の町民の考えを聞く	14
議事 あの質問 その後は	17

F666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
TEL:072-766-8710 FAX:072-766-8882
http://www.town.inagawa.hyogo.jp